



2018年3月期 第2四半期  
**決算補足資料**

証券コード：6908  
2017年11月2日  
イリソ電子工業株式会社

## 売上、利益ともに過去最高を更新

- ・ 売上面では前年同期比13.9%増。四半期単独売上が2四半期連続で100億円を超え、半期累計でイリソ史上初めて200億円を突破。  
円安の影響も一部あるものの、車載市場を中心に物量が堅調に増加
- ・ 利益面では、売上の増加と原価低減活動、円安の影響により増益となり、営業利益率は前年同期比3.3ポイント増の19.0%となった

### 【市場別】

- ・ 車載市場：ADASの進展により搭載が加速している安全系(カメラ・レーダー)向けや三次元可動BtoBコネクタ“Z-Move™”を含むパワートレイン系が牽引。  
カーエレクトロニクス分野は過去最高売上を3四半期連続で更新し、AVN分野を上回る売上へ
- ・ インダストリアル市場：FA機器の需要増により、PLC、サーボアンプ、インバーター向け等で増加。半期累計で初めて10億円を越えた

### 【地域別】

- ・ 国内：車載市場、インダストリアル市場が好調で増収
- ・ アメリカ：車載市場で安全系を中心に好調で増収
- ・ 中華・韓国圏：カーエレクトロニクス分野、インダストリアル市場を中心に増収
- ・ 欧州：車載市場で安全系を中心に好調で増収

### 【トピックス】

- ・ 茨城工場の改修を実施。クリーンルームを増設し、高品質品の生産体制を強化

## 2. 2018年3月期第2四半期連結業績(前年同期比)



単位：百万円

	17.3期 第2四半期	18.3期 第2四半期	前年同期比
売上高	18,159	20,687	2,528 113.9%
営業利益	2,845	3,930	1,085 138.1%
経常利益	2,638	3,867	1,229 146.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,913	2,862	948 149.6%
EPS	81.81円	120.91円	
為替レート 期中平均	ドル 106.43円 ユーロ 119.12円	111.42円 126.63円	4.99円 7.51円

### 3. 売上高詳細(市場別)

単位：百万円

		18.3期 第2四半期	前年同期比	構成	増減要因
オートモーティブ(車載)		17,337	114.3%	83.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ADASや電動化、電装化の進展を背景にエレクトロニクス分野が増加。AVN分野を上回る売上へ</li> <li>・ ADAS関連で安全系(車載カメラ、レーダー)向けが引き続き堅調で、前年同期比約170%</li> </ul>
区	AVN (カーAV、ナビゲーションシステム等)	8,442	105.2%	40.8%	
分	エレクトロニクス (安全系、電装関連、駆動系等)	8,895	124.5%	43.0%	
コンシューマー (OA、ゲーム機、デジカメ、携帯電話、TV等)		2,263	100.7%	10.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OA機器(プリンター、複合機)向けが堅調</li> </ul>
インダストリアル (産業機器等)		1,087	145.8%	5.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PLC、サーボアンプ、インバーター向け等で増加。初の10億円突破</li> </ul>
合計		20,687	113.9%	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外比率78.4%</li> </ul>

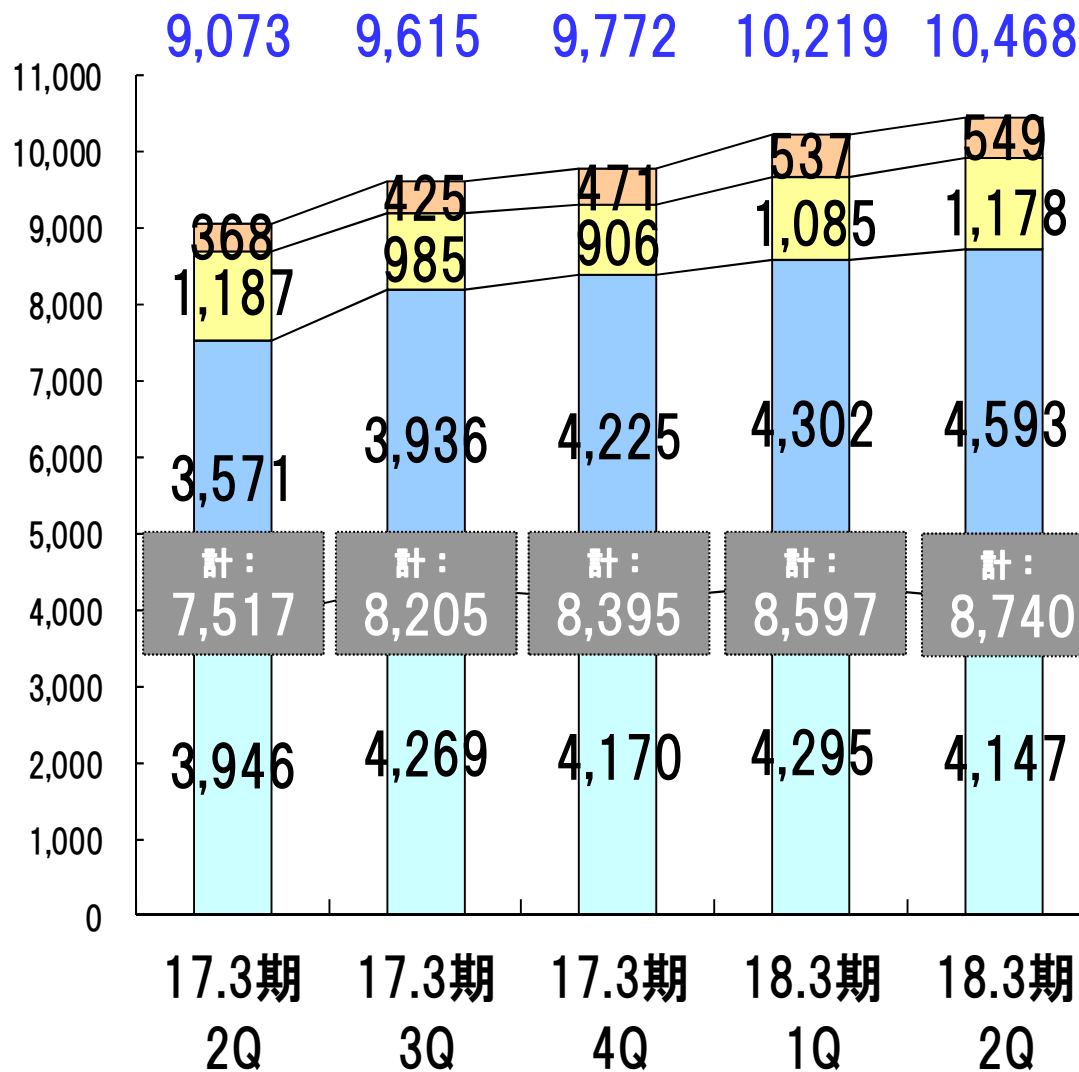
注：AVNIは、オーディオビジュアルナビゲーションの略で、カーオーディオ全般、ナビゲーションシステム等のこと



# 4. 市場別売上高(四半期推移)



単位：百万円



◆対17.3期2Q

工業用  
149.1%

・ PLC、サーボアンプ  
向け等で増加

消費者  
99.2%

・ OA機器向けで増加  
も、ゲーム機向け減少

車載  
(エレ)  
128.6%

車載  
(全体)  
116.3%

車載  
(AVN)  
105.1%

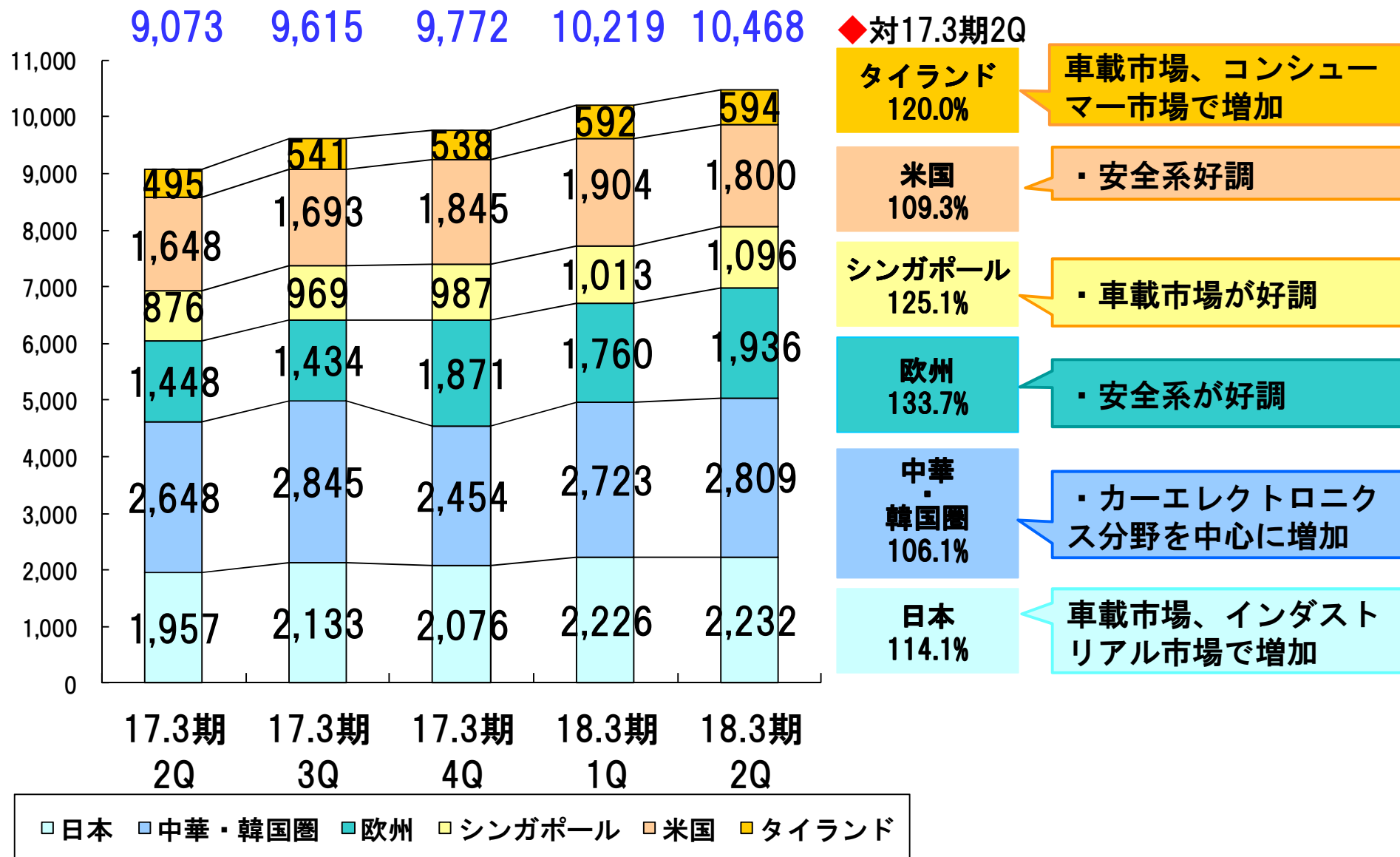
・ カーエレクトロニクス分野は安全系が牽引し、過去最高売上更新。パワートレイン系も増加  
・ カーエレクトロニクス分野の売上が3Q連続でAVN分野の売上を越えた

■車載 (AVN) ■車載 (エレクトロニクス) ■消費者 ■工業用

# 5. 地域別売上高(四半期推移)

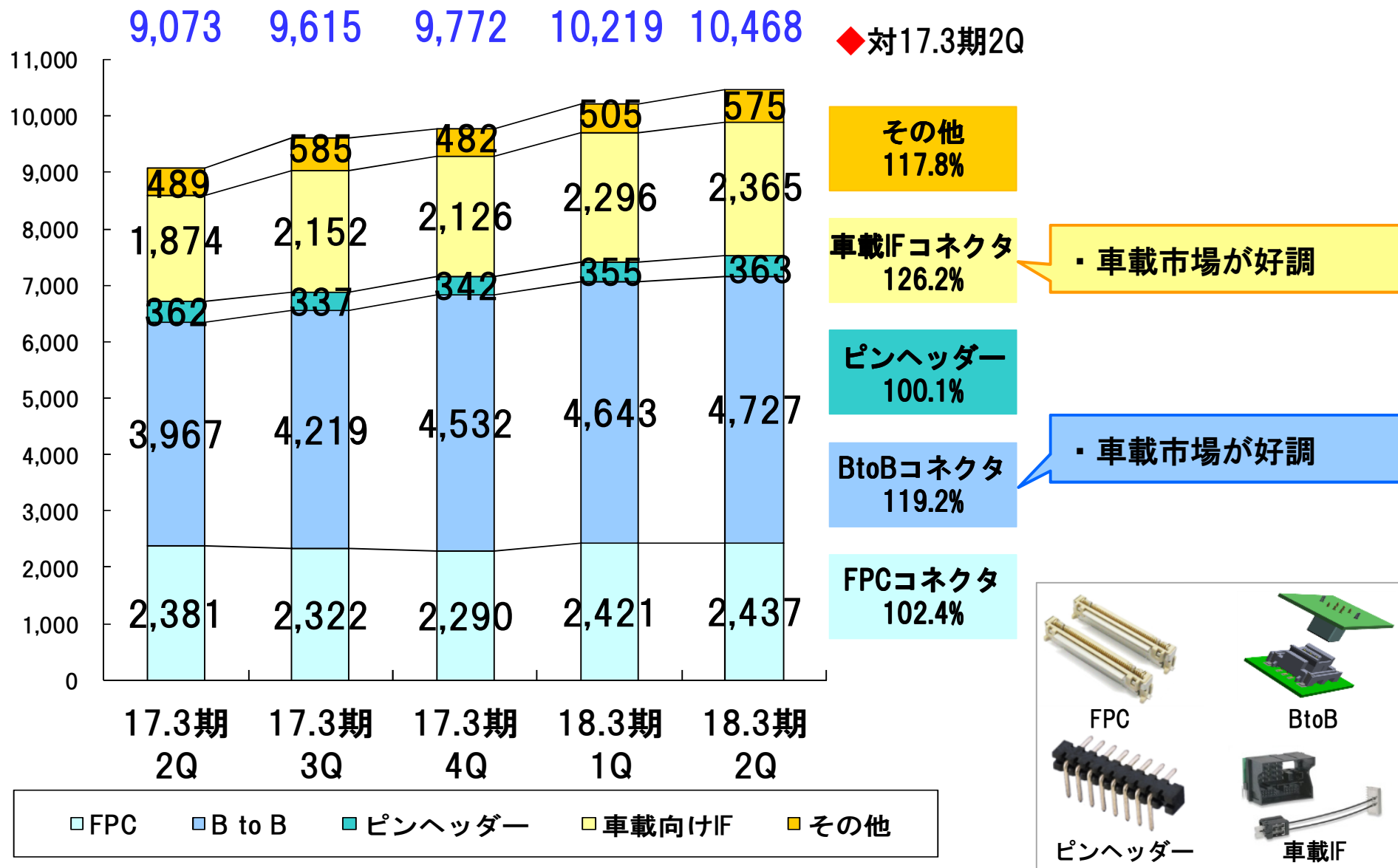


単位：百万円



# 6. 製品別売上高(四半期推移)

単位：百万円



## 7. 損益計算書(連結)(前年同期比)



単位：百万円

	17.3期 第2四半期		18.3期 第2四半期		前年同期比	
売上高	18,159	100.0%	20,687	100.0%	2,528	113.9%
売上原価	11,827	65.1%	12,784	61.8%	956	108.1%
売上総利益	6,331	34.9%	7,902	38.2%	1,571	124.8%
販売管理費	3,486	19.2%	3,972	19.2%	486	113.9%
営業利益	2,845	15.7%	3,930	19.0%	1,085	138.1%
営業外収益	43	0.2%	37	0.2%	△5	85.3%
営業外費用	250	1.4%	100	0.5%	△149	39.9%
経常利益	2,638	14.5%	3,867	18.7%	1,229	146.6%
特別損益	△6	△0.0%	△49	△0.2%	△43	-
税前利益	2,631	14.5%	3,817	18.5%	1,185	145.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,913	10.5%	2,862	13.8%	948	149.6%
E P S	81.81		120.91		-	
為替レート (ドル/ユーロ)	106.43円/		111.42円/		4.99円/	
	119.12円		126.63円		7.51円	



## 8. 貸借対照表(連結)(前期末比)



単位：百万円

	17.3期	18.3期 第2四半期	前期末比	増減要因
流動資産	31,828 60.8%	34,209 60.4%	2,380	現金及び預金582 受取手形及び売掛金1,090
固定資産	20,534 39.2%	22,392 39.6%	1,858	有形固定資産1,821
資産合計	52,363 100.0%	56,602 100.0%	4,238	
流動負債	7,000 13.4%	8,319 14.7%	1,318	支払手形及び買掛金649 賞与引当金196 未払法人税等138
固定負債	669 1.3%	695 1.2%	25	
負債合計	7,670 14.6%	9,014 15.9%	1,343	
株主資本	42,737 81.6%	44,896 79.3%	2,159	利益剰余金2,159
その他の 包括利益累計額	1,715 3.3%	2,420 4.3%	705	為替換算調整勘定705
非支配株主持分	239 0.5%	270 0.5%	31	
純資産合計	44,692 85.4%	47,587 84.1%	2,895	1株純資産 1,998.71円 (前期末 1,877.72円)
負債・純資産 合計	52,363 100.0%	56,602 100.0%	4,238	

## 9. キャッシュフロー計算書(連結) (前年同期比)



単位：百万円

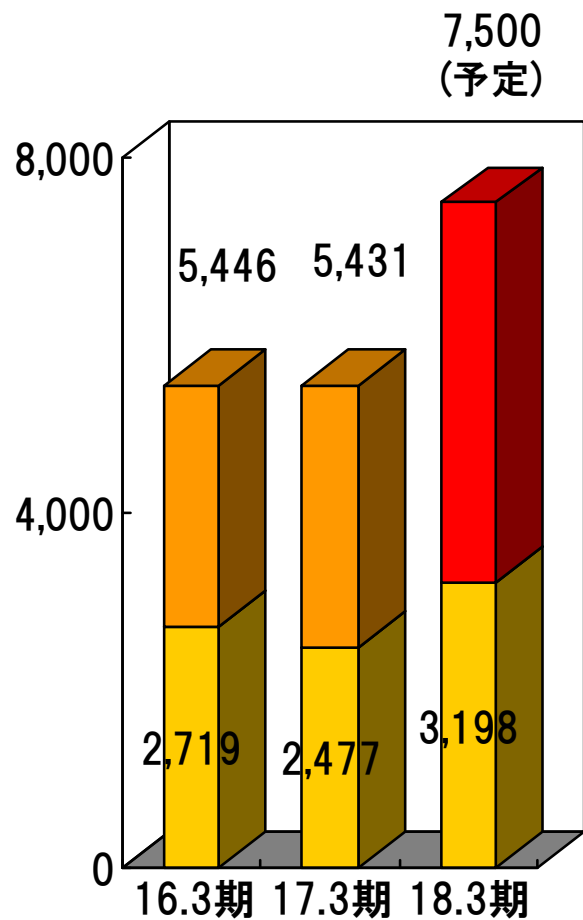
	17.3期 第2四半期	18.3期 第2四半期	増減
営業キャッシュフロー	2,766	4,436	1,670
売上債権増減（△は増加）	△1,151	△723	427
仕入債務増減（△は減少）	1,189	307	△882
投資キャッシュフロー	△2,460	△3,275	△814
有形固定資産の取得	△2,477	△3,198	△721
無形固定資産の取得	△1	△50	△48
財務キャッシュフロー	1,525	△743	△2,269
短期借入金純増減	-	-	-
自己株式の処分による収入	2,241	-	△2,241
現金及び現金同等物の増減	973	582	△391
現金及び現金同等物期末残	14,024	15,825	1,800



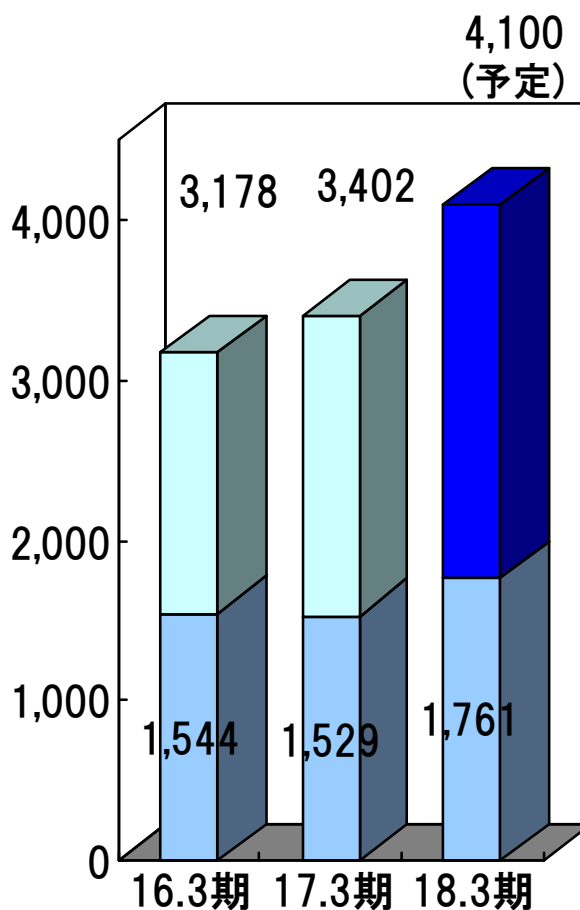
# 10. 設備投資・減価償却・研究開発



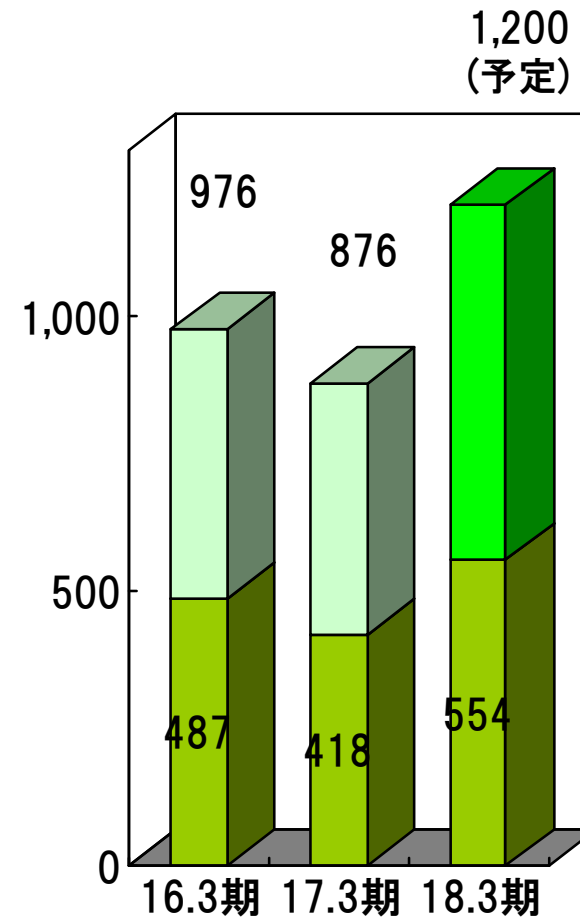
単位：百万円



## 設備投資



## 減価償却



## 研究開発

注：各グラフの数値は、下段に第2四半期累計の実績、上位に通期での実績(18.3期は予定)を記載

# 11. 2018年3月期 修正計画



単位：百万円

上期の実績や為替の状況を考慮し、期初計画を修正致しました。  
 (下期為替前提：ドル110.00円、ユーロ125.00円、元16.80円)

	17.3期 実績	18.3期 期初計画	18.3期 修正計画
売上高	37,547	40,000	41,500
営業利益	6,661 (17.7%)	7,200 (18.0%)	7,900 (19.0%)
経常利益	6,750 (18.0%)	7,200 (18.0%)	7,800 (18.8%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,875 (13.0%)	5,200 (13.3%)	5,800 (14.0%)
EPS	207.16円	219.65円	245.00円
為替	ドル 109.03円 ユーロ 119.37円 元 16.20円	ドル 110.00円 ユーロ 120.00円 元 15.80円	ドル 110.76円 ユーロ 125.88円 元 16.62円

## 12.トピックス：中国・南通工場建設状況



2017年12月竣工に向けて順調に建設中

場所	江蘇州南通市		
土地面積	約36,000㎡	正面玄関外 北西より全景	
建屋面積	約26,000㎡予定 (イリソ最大)	北東より全景 屋根設置完了	
販売エリア	中華圏		
竣工予定	2017年12月		
稼働予定	2018年3月		
特徴	IoTを駆使した 新生産システム の構築。 <b>スマート ファクトリー</b>		
		ロゴ取り付け完了	組立エリア工事中

### 茨城工場の改修を実施しました

- 改修目的：自動車の駆動系部品への当社コネクタの需要増加  
→より品質を高めた生産体制の確立
- 改修内容：組立工程のクリーンルームの増設



会 社 名	：	イリソ電子工業株式会社
事 業 内 容	：	各種コネクタの製造・販売
設 立 年 月	：	1966年（昭和41年）12月
社 員 数	：	3,324名（平成29年9月30日現在）
資 本 金	：	5,640百万円（平成29年3月31日現在）
本 社	：	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営 業 拠 点	：	<p>本社、岩手県、茨城県、愛知県、大阪府  シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国  中国（上海、大連、天津、蘇州）、マレーシア、台湾、  インド</p>
国 内 外 海 外	：	
研 究 開 発	：	<p>本社（イリソテクノロジーパーク）、  川崎（生産技術センター）、上海R&amp;Dセンター</p>
工 場	：	茨城県、中国（上海）、フィリピン、ベトナム（ハイズン）

## コネクタの種類

### 基板対基板コネクタ（BtoBコネクタ）

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ（ボードtoボードコネクタ）とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B（ビー・ツー・ビー）は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

### FPC/FFCコネクタ

FPC基板（Flexible printed circuits）やFFCケーブル（Flexible flat cable）の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF（Zero insertion Force）タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

### I/Fコネクタ

I/Fとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O（インプット／アウトプット）コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面（裏・表面）に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

### ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン（電導体）”をハウジング（樹脂材でできた絶縁体）で支えたプラグ（オス側）コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続（基板間接続）に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。



この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。